

小中一貫校 茅野市立永明中学校令和8年度 グランドデザイン

茅野市「縄文のビーナスプラン1」 ～みんなが縄文のビーナスのように輝くことを願って～

「みんな同じ」から、多様な価値を認め合い、一人が輝き、みんなが輝く学校をめざします

永明中学校区の特色ある教育(探究的な学び:「縄文のビーナスプラン2」

～読書・図書館教育と探究的な学び メディアセンター・図書館を核とした小中一貫教育への挑戦～

永明中学校区 わたしたちがめざす子ども像は

「相手に生きる私」

相手の気持ちや立場になって考え 相手の生き方の中に自分自身を高めることのできる私

学校教育目標「響き合い 磨き合い 誠実に生きる」

同世代・異年齢の友だちとの学びや地域の方々と共に活動する中で、本校の精神「自分の頭で考え、判断し、行動する」をベースに、互いに思いを受け止め、切磋琢磨し、判断力ある自律した生き方をめざします。そこには、「相手に生きる私」がいると共に、雲母が輝く縄文のビーナスのように、一人ひとりが輝き、みんなが輝く学校がきっとあると考え、学校創りをしていきます。

「言葉と心を育てる」永明中学校の学び

情報活用能力を高める授業

○子どもが夢中になる授業を追究します

・ゴールがはっきりした授業の充実：授業改善

○あらゆる場で情報活用能力を鍛えます。

・情報収集・自己調整・情報発信等を授業の中で鍛えます。

・単元内自由進度学習、グルーピング等の工夫

○ICTをより積極的に活用します

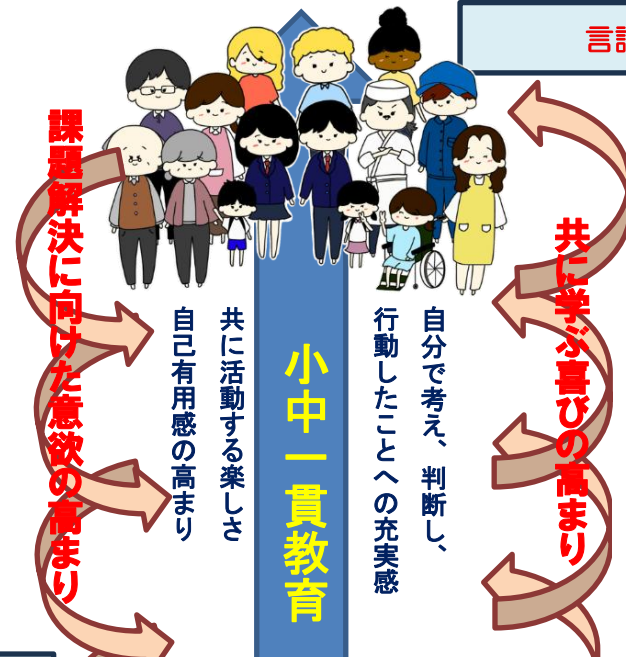
・週末課題やテストへの活用等積極的な工夫

○スタディタイムを活用し基礎基本の定着

・予習や振り返り学習の充実

・スタディタイム(仮：輝きの時間)を活用し、教科相談、学び合い、分からないことをそのままにしない学習方法の習得

R8年度：読書・図書館教育を重点とした探究的な学びを実践します～



言語能力を高める各種活動 授業

○「知の宝庫」「交流の基点」としてのメディアセンターを最大限有効活用します

・情報活用能力、言語能力を高める活用 ※子ども読書の集いへの積極的な参加

○「読書教育・人権教育・交流活動」を通して心を耕します

・学ぶ力のベースとなる「読書力」充実
・心を耕す人権教育や道徳教育

特別支援・生き方教育(キャリア教育)

○生き方教育(キャリア教育)を充実させます

・「人・物・事」との出会いから生き方へ(ジョブギャラリー、職場体験学習等)

○個の背景に思いを寄せた特別支援教育へ

・生徒の思いに寄り添い、多様な学びの場や価値を大事にした支援(NINOの活用)

・まなざしルーム、フリースクールと連携

○全職員で温かな学校づくりをします

・NINO(認知検査)を活用した生徒支援

縄文・市民科(探究力を高め生きる力を培う)

○小中の接続した探究的な学びを構築します

・「学ぶ力」のベースとなる読書力を高める探究的な学習で情報活用能力、言語能力の育成

・総合発表会の充実と発信力強化

・読書教育の充実でことばを豊かにする

・キャリアパスポート、調べる学習の充実

発達段階を意識しつつ、共通した学び方

中学校 ジャンプアップ期(中2・中3)

小学校・中学校 グローアップ期(小5～中1)

小学校 ベーシック期(小1～小4) スタート期(開始時)

・体育・健康・食育

個別最適な学びと協働的な学び

地域づくりへの参画、CSとの連携

学びの集団づくり、心の4つ葉のクローバープランの充実

○行事を通して自己肯定感を高めます

・生徒が「自分たちで創った行事」を実感できるようにする

○食育を充実させ、心と体を健康に育みます

健康教育 食育

○必要性のある ICT 活用の促進します

・個の学びと集団における学びを授業の中で、大事に位置づけ、繰り返していく

・自分の頭で考え、判断することを永中の軸とする

・異年齢の交流を活性化させる

○生徒会活動や縄文市民科を通して地域の一員として社会参画できる中学生をめざします

・CSと連携し地域とのつながりを大事にしていく

・生徒がより充実感や達成感を高められるよう支援

・保護者向けの相談体制

○いじめ防止対策推進法の遵守

○全職員で行う教育相談等

・入学時のリレーション、Q-U検査の活用、認知検査NINO活用

・SST(ソーシャルスキルトレーニング)の強化

・情報モラルの強化